講師のプロフィール

八谷さん　太田さん　川村さん

太田（おおた）　満（みつる）

1967年6月北海道赤平市生まれ。

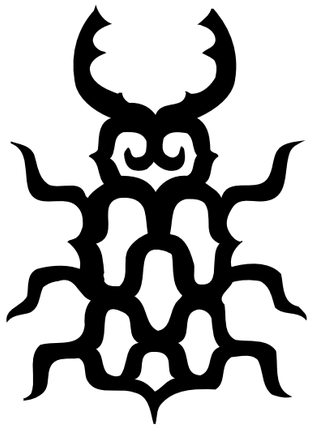
天理大学外国語学部ロシア語学科を卒業。ロシア語・ルーマニア語の法廷通訳を経験。

現在、旭川アイヌ語教室の講師をはじめ、（財）アイヌ文化振興・研究推進機構が実施している指導者育成事業、親と子のためのアイヌ語講座（旭川）の講師として、アイヌ語の指導にあたっている。

協力者の紹介

川村（かわむら）　久恵（ひさえ）　川村カ子トアイヌ記念館副館長。旭川親子アイヌ語教室代表。

八谷（はちや）　麻衣（まい）　現在、アイヌ語を勉強中。19年度アイヌ語弁論大会弁論部門で最優秀賞を受賞。



作　川村 久恵

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。今年度、このテキストでは石狩方言の会話に必要な表現と文法について学習します。

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	LESSON Kampinuye	テーマ	ページ
7月	6日	14	何処に、何処で ― 疑問詞を使った疑問文（2）	6
	13日	15	何処から、何処へ ― 疑問詞を使った疑問文（3）	8
	20日	16	二つの私達 ― 人称接辞（3）	10
	27日	17	君達、あなた ― 人称接辞（4）	12
8月	3日	18	復習 ― 練習問題 ―	14
	10日	19	～しよう ― 勧誘の表現	16
	17日	20	私に下さい ― 依頼の表現、人称接辞（5）	18
	24日	21	してはいけない ― 禁止の表現、人称代名詞	20
	31日	22	アイヌ語の文化的背景について（1）	22
9月	7日	23	楽しいアイヌ語（1）	24
	14日	24	できる、できない ― 助動詞（1）	26
	21日	25	したい、したくない ― 助動詞（2）	28
	28日	26	感嘆文 ― 形式名詞 ruwe hawe siri humi のまとめ	30

アイヌ語石狩方言・発音・表記について

>>学習目標

本年度のアイヌ語ラジオ講座では、石狩方言の会話に必要な表現と文法を学習します。同時に石狩川流域を中心にして歴史、文化についても、できるだけ多く学習したいと思います。また、本放送上では触れませんが、「付録」としてできるだけ多くの単語をあげましたので、表現を広げる事に役立てて下さい。

平成16年度には旭川方言として学習しましたが、アイヌの間に伝えられてきたものとは相違する点があり、問題点についても多く指摘されてきました。その後、「旭川親子アイヌ語教室」では、先人より受け継ぎ、自らが用い、未来に伝える「自分達の言葉」としてのアイヌ語に関心が高まり、熱心に取り組む人が増えています。その中で形成されつつあるのがこのテキストで扱う石狩方言で、上川方言と空知方言の混合体である事、現代の生活に合わせて他方言よりの語彙の移植、新語の作成などの点で、下に記した歴史的石狩方言とは異なりますので注意して下さい。

>>石狩方言について

かつて川は交通の要であり、その川筋に沿ってアイヌの集団の多くが形成されました。石狩川は延長268kmに及ぶ北海道一の大河であり、その流域には大小幾つもの集団がありました。旭川では大きく三つの集団、つまり神居古潭より上流、現在の旭川市を中心に居住した peniunkur ペニウンクル、神居古潭より下流、現在の滝川市、新十津川町を中心に居住した paniunkur パニウンクル、石狩川下流域に居住した paratounkur パラトウンクルと分けましたが、何れも有事の際には団結し、旭川の人であっても他の地方の人に対しては誇りを持って iskarunkur イシカルンクルと自らを呼びました。この事実をふまえ浅井亨先生は「石狩方言」と名付けました。今後アイヌの伝統を尊ぶ人は iskarunkur iposse イシカルンクル イポッセ「石狩方言」の名を用いる事にします。その歴史的分類は以下の通りです。

石狩方言	上川方言	比布方言	婚姻関係などから天塩川筋の方言と関係がある
		旭川方言	本来の「旭川方言」の他、系統の異なる北見系の方言と十勝系の方言がある
	空知方言	雨竜方言	人の往来があり天塩川筋の方言と関係がある
		新十津川方言	人の往来、婚姻関係などから浜益、千歳の方言と関係がある
	石狩川下流方言	原住者の多くは死滅しており不明。幕末期には上川、空知の者が漁場の強制労働に従事させられていた。明治のはじめ札幌に住んでいた者で、旭川市に移住した者がいるが、今日の旭川方言にもそれが幾分か反映されていると考えられる。	

>>発音について

母音は日本語と同じa, i, u, e, o（ア、イ、ウ、エ、オ）です。特に u は本来日本語と異なり口を丸めるように発音され、「オ」の様に聞こえる事があります。ただ目下、日本語の影響下で他の母音同様、日本語と同じ発音がされる事も多いです。

子音はc, h, k, m, n, p, r, s, t, w, y（それぞれ母音アを付けて、チャ、ハ、カ、マ、ナ、パ、ラ、サ、タ、ワ、ヤ）です。ローマ字表記で ca が「チャ」と発音されるので注意が必要です。また、r は本来舌を上顎に付け破裂させる音で、時として例えば「ラ」が「タ」に聞こえる事があります。本放送で講師は本来の発音に努めますが、これも目下、日本語のラ行と同じ発音をする人が多くなっています。tu は日本語にない音であり特殊なカナで「ㇳ」と表記されます。

先の子音のうち c と h を除いてak, am, an, ap, ar, as, at, aw, ayの様に語尾にたちます。中でもak, ap, atなどは英語などと異なる発音ですから、放送を注意深くお聞き下さい。ar は現在 r の直前の母音を響かせ「アㇻ」と発音される事が多いのですが、「アル」と発音しても構いません。as は「アシ」と発音されますが、旭川方言では「アㇲ」の様に発音される事があり、更に上流の比布方言では旭川で違和感を持たれる程全ての s が「ㇲ」と発音されます。

日本語には「はは」、「ばば」の様に清音、濁音の区別がありますが、アイヌ語にはありませんでした。「頭」の事をアイヌ語で「サパ」と言っても「サバ」と言っても良かったのですが、今ではテキストが普通「サパ」としか表記されていないため、音で学ぶ機会が少ない現在、濁音が通じない、あるいは間違いと指摘される傾向にあります。また s の音は例えば「サパ」でも「シャパ」でも良いのですが、同じ理由で「シャパ」が通じない事があります。これらの発音をどうしていくかは、学習者の意識にかかっています。

その他、石狩方言の発音として注意すべき点は、h の音がよく抜け落ちる事です。例えば、hosipiは「ホシピ」とも「オシピ」とも、ahunは「アフン」とも「アウン」とも発音される訳です。特に語頭の h はよく抜け落ちます。

>>アイヌ語の表記について

現在、アイヌ語の表記法としては、北海道ウタリ協会で編纂された教科書で採用されたアコロイタㇰ方式が広く用いられています。しかし実際の辞書やテキストなどを見る限り、特にローマ字の表記法にはばらつきがあるようです。旭川ではアイヌ語教室で辞書編纂に当たった際、その表記法確立に苦労した末、ローマ字を正式なものと合意しました。その表記法は一般にアコロイタㇰ方式と理解されているものと違いがあるかも知れませんので、確認して下さい。

① 一語に綴られる時 p の前の n は m となる。

例：tampe　タンペ　＞ tan ＋ pe

② ei、eu の様な母音の連続で i、あるいは u にアクセントがない場合 ey、ew と表記される。

例：koeykesuy　コエィケスィ　＞ ko ＋ eikesuy

：koewtaye　コエゥタイェ　＞ ko ＋ eutaye

但し、これによって語中で3子音、語尾で2子音が連続する場合は先の表記は行わない。

例：hotkeus　ホッケウシ「いつも寝る」：参考　hotkewsi　ホッケゥシ「寝床」

先の解説でアイヌ語には様々な発音がある事を説明しました。本テキストではローマ字が標準語形を示すのに対し、特に例文のカタカナは実際の音を表すのに用います。例えば sapa「シャパ」、hosipi「オシピ」などです。勿論それぞれ「サパ」、「ホシピ」と発音しても構いません。後期になって文章が複雑になった時、ローマ字とカタカナがかなり違っているのに驚かれる事でしょう。

Lesson14

Kampinuye 14(Inep ikasma wampe) 何処に、何処で
カンピヌイエ　イネプ　イカシマ　ワンペ　―疑問詞を使った疑問文(2)

例　文

1. A: E=kotanuhu　neyta　an ?
エコタヌフ　ネィタ　アン　（君の住まいは何処ですか？）
B: Sorapciputu　ta　an .
ソーラプチプド　タ　アン　（空知太にあります。）
A: Numan　e=kotanu　ta　ku=oman .
ヌマン　エコタヌ　タ　クオマン　（昨日君の村に行きました。）

2. A: Ku=kor　kampisos　neyta　okay ?
クコロ　カンピソシ　ネィタ　オカィ　（私の本は何処にある？）
B: Sinep　anak　e=kor　ekasi　otta　an ,
シネプ　アナク　エコロ　エカシ　オッタ　アン　（一冊はお前のお爺さんの所にある。）
sinep　anak　san　ka　ta　an .
シネプ　アナク　サン　カ　タ　アン　（一冊は棚の上にある。）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
anak	アナク	副助詞	～は　= anakne　＊テキストVol.1のLESSON13今日の学習3参照
ekasi	エカシ	名詞	お爺さん、祖父
ka	カ	位置名詞	～の上
kampisos	カンピソシ	名詞	本
kotanu	コタヌ	場所名詞	～の村、住まい、世界（kotan「村」、「住まい」、「世界」の所属形。長形は kotanuhu）
neyta	ネィタ	副詞:疑問詞	何処に、何処で
oman	オマン	自動詞	行く（複数形はpaye）
otta	オッタ	位置名詞＋後置詞	～へ、～に、～で、～の所に　＊今日の学習2参照
san	サン	名詞	棚
Sorapciputu	ソーラプチプド	固有名詞:地名	空知太（現在、空知支庁滝川市及び砂川市の地名で、「空知川の川口」の意味）
ta	タ	後置詞	～へ、～に、～で

今日の学習

1.後置詞　ta　について
日本語では　**私は赤平で太田さんを見た**　のように「は」、「で」、「を」といった言葉を用いて、文の中での単語の意味役割を示します。この日本語をアイヌ語にすると
Akabira ta Oota-nispa ku=nukar
となり、「で」に当る言葉として　ta　が日本語と同じように用いられています。この　ta　のような言葉を**後置詞**と呼びます（注）。

但し、このアイヌ語文には「は」や「を」に当る言葉はありません。このように日本語とアイヌ語が必ずしも対応するわけではないので注意して下さい。　※注　国文法では「格助詞」と呼び、アイヌ語でも多くの人がそのままこの文法用語を用いています。

2.otta　について
例文2に“ Sinep anak e=kor ekasi otta an .”とあります。この　otta　も先に学んだ　ta　の意味とほぼ同じように用いられます。実はこの　otta　は　or　と　ta　という二つの単語で、or　は「**～の中**」、「**～の所**」という意味の**位置名詞**と呼ばれる名詞の一種です。節を付けて一語一語ゆっくり発音される時など　orta　が聞かれる事もありますが、通常の発音では　t　の前の　r　は発音の類似もあって　t　に同化され　otta　と発音されるのです。この　otta　のように「**or＋後置詞**」の形になっているものは基本的にどういう言葉の後でも用いる事ができます。それに対して　ta　という後置詞単独の形は**文法的な場所の概念**を持つ名詞の後にしか用いる事ができません。

3.文法的な場所の概念
例えば　cise　「家」と　kotan　「村」という二つの単語を比較すると、「家に」と言う時　cise　otta　のように「or＋後置詞」の形しか用いられないのに対し、「村に」と言う時には　kotan　otta　と　kotan　ta　のように「or＋後置詞」の形と後置詞単独の形のどちらを用いても構いません。後者の　kotan　のような性質を「**文法的な場所の概念**」と呼びますが、それを持つものは以下の通りです。

① 場所名詞
② 場所の名詞
③ 位置名詞

①～③については後で詳しく学んでいきます。ここでは②に関連して一つだけ、「**よく知られた地名は場所の名詞として扱われる**」という事だけ述べておきます。

もっと知りたい

kotan　は「何ものかが暮す所」という意味の言葉で、家が一軒しかない所にも　kamuykotan　「魔界」のように一つの世界全体にもこの言葉を用います。勿論日本語の「村」も　kotan　で良いのですが、例えば「東京」を　Sisamtonokotan　とか　Sisamkotan　と呼んだ例で分かるように「都市」を　kotan　とか、せいぜい　porokotan　「大きなコタン」という言葉で表現しても良い訳です。ただ現在あるような行政区分をアイヌ語で表現する時には新語作成など工夫をしなければならないでしょう。尚、「町」の意味では日本語から借用した　maciya　という言葉があります。

石狩紀行(9)ー比布

現在、上川支庁比布町の町名のもとになった「比布（ぴっぷ）川」のアイヌ語名については諸説があります。永田氏の北海道蝦夷語地名解には　Pip　と　Pipi　の二つの語形が挙げられ「石多キ處」と訳されています。この　pi　は石狩方言で大小を問わず「石」を指すようです。ところで旭川や比布の方言では　otuwasi　を　otuwas　とするように、子音sに続くアクセントのない母音iが脱落する現象が観察されます。そしてこのsは旭川では尚「シ」という軟子音で発音されるのに対し、比布ではほとんど「ス」と硬子音で発音されます。明治の地図などの「ピプ」が比布方言の音韻の特徴を反映しているとすれば、「アクセントのない語尾の母音iが弱まり消滅」→「直前の子音が軟子音化」→「軟子音が硬子音化」というプロセスが想像できます。永田氏も　pip　という音を聞き、意味を確認する過程で　pipi　という原形を聞いたか、復元したのではないでしょうか。多くの知識を自ら記録した比布アイヌの尾澤カンシャトク翁の資料中に答えが見つかるかも知れません。
尚、比布アイヌが尊んだチノミシリは　Kitousnupuri（kito-us-nupuriギョウジャニンニクの茎葉・が～に沢山ある・山）あるいは　Kitowsi（kito-us-iギョウジャニンニクの茎葉・が～に沢山ある・所）で、日本語では「鬼斗牛（きとうし）山」と呼ばれています。

Lesson15

Kampinuye 15(Asiknep ikasma wampe) 何処から、何処へ
カンピヌイエ　アシクネプ　イカシマ　ワンペ　—疑問詞を使った疑問文(3)

例　文

1. A: Nisatta　neyne　e=oman ?
ニサッタ　ネィネ　エオマン　（君は明日何処へ行く？）
B: Asankar　ene　ku=oman .
アサンカラ　エネ　クオマン　（旭川へ行きます。）

2. A: Nispa ,　tanto　neyne　paye ?
ニシパ　タント　ネィネ　パイエ　（旦那、今日はどちらへ参られますか？）
B: Kikue-huci　ekota　ku=oman .
キクエフチ　エコタ　クオマン　（キクエお婆さんの所に行く。）

3. A: Neywa　e=ek ?
ネィワ　エエク　（君は何処から来たの？）
B: Tok　orwa　ku=ek .
トク　オロワ　クエク　（新十津川から来ました。）
A: Kisa　e=o　wa　e=ek ?
キサ　エオ　ワ　エエク　（汽車に乗って来たの？）
B: Tan　kotan　pakno　ku=apkas　wa　ku=ek .
タン　コタン　パクノ　クアプカシ　ワ　クエク　（この村まで歩いて来ました。）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
apkas	アプカシ	自動詞	歩く
Asankar	アサンカラ	固有名詞:地名	旭川（現在上川支庁旭川市内の一地名であるが、広域の地名として用いられた例も確認される。）
ekota	エコタ	後置副詞	～へ、～に
ene	エネ	後置詞	～へ
kisa	キサ	名詞	汽車（日本語からの借用）
neyne	ネィネ	副詞:疑問詞	何処へ
neywa	ネィワ	副詞:疑問詞	何処から
nispa	ニシパ	名詞	金持ち、立派な男性、旦那
o	オ	他動詞	～に乗る
orwa	オロワ	位置名詞+後置詞	～から、～の所から
pakno	パクノ	後置副詞	～まで
tanto	タント	場所名詞、副詞	今日
Tok	トク	固有名詞:地名	新十津川（現在空知支庁新十津川町を流れる徳富川が語源で、この下流に空知アイヌの中心地と言える集落があった。）
wa	ワ	後置詞	～から
wa	ワ	接続助詞	（文と文を繋ぎ）～（し）て

今日の学習

1.「何処」を意味する疑問詞のまとめ

前回学習した **neyta**「何処に、何処で」と今回の **neyne**「何処へ」と **neywa**「何処から」という単語では「～に、で」、「～へ」、「～から」という意味の後置詞を外すと **ney** という部分が共通しています。これは **ne（何れの）＋i（所）** という要素から成り立っていて、「何処」の意味になっています。但し「何処が」の意味で主語になったり、「何処を」などの意味で他動詞の直接目的語になる場合には Kampinuye12で学んだ **neoro** を使いますので注意して下さい。

2.後置詞と後置副詞

日本語の「てにをは」に当る言葉として**後置詞**が用いられる事を前回学びました。今回の例文では **ene** や **wa** がそれに当ります。それと共に **ekota** や **pakno** といった**後置副詞**も用いられています。これはアイヌ語で日本語の「てにをは」に当る言葉の全てが後置詞という品詞に当らない事を示しています。後置詞と後置副詞の違いは、

①**「文法的な場所の概念」を持たぬ名詞の後に用いられる場合、後置詞では**
Poro cise otta oman .「大きな家へ彼は行く。」
のように**必ず「or＋後置詞」の形にしなければならない**が、**後置副詞では**
Poro cise ekota oman .
のように**普通は位置名詞 or を用いません。**

②**後置詞は単独で用いる事ができない**のに対し、**後置副詞は**
Poro cise as kane an .「大きな家が建っている。
Ekota ku=oman .　そこに私は行く。」
のように**単独で用いる事ができます。**

尚、砂沢クラ媼のように後置詞 ene の代わりに ine の形を使う人もいます。これらは oske「～の中」など母音に終わる言葉の後では語頭のeやi音が脱落し oskene と発音されます。また「文法的な場所の概念」を持たぬ名詞の後に orene が用いられる事は全くと言って良いほどなく、代わりに後置副詞 ekota を用いるのが石狩方言の特徴です。

3.人称の特例と敬語表現について

例文2のAの文は相手に話しかけているのですから、本来 e= のような人称接辞を用いなければならない筈です。ところが例文にはそれがありません。**実はアイヌ語では人名や相手の職業、地位、「お爺ちゃん」、「娘」といった言葉で呼びかけた場合、それが用いられた文の動詞は三人称となって人称接辞は用いません。**但し**文が一度切れると、必要な二人称の人称接辞を用います。**

また例文では一人に対し話しかけているのですが、予想される oman という単数形ではなく paye という複数形が使われています。これは**敬語表現として動詞の複数形を用いているのです。**物語でも神様の行為などについてこの用法がよく用いられますので、注意して下さい。

石狩紀行(10)ー突哨山

前回述べた鬼斗牛山の南、比布川の右岸（アイヌ語の思考では左岸）、旭川市と比布町の境に長く横たわる形で「突哨（とっしょう）山」があります。アイヌ語では Tusso と言いますが、その語源について知里氏は tuk-so「突き出た・壁」の転訛ではないかと考えました。石狩方言では例えば teksam「～のすぐ側」を、子音kが後続の子音sに同化した tessam とも発音するので、あり得る事です。しかし明治のはじめ頃にはアイヌ達にも語源は忘れられ tus-so「綱・床」と理解されていた事が永田氏の蝦夷語地名解の記事からも分かります。知里氏は旭川市史の地名解に「昔、洪水があったとき、この山の頂きに綱を張ったぐらい乾いた所があって、そこに逃げた人々だけが助かった」という伝説を記し、山頂に祭場があったのではないかと考察しています。今日までの地名研究ではこういった伝説の部分は無視されがちですが、アイヌ語の音韻や意味の変遷、文化、歴史的背景を考える上で伝説は大きなヒントを与えてくれます。勿論、研究の上では伝説を全て鵜呑みにせよと言っているのではありませんが、ある時代を生きた先人の声を心の中に聞いて欲しいと思います。そうする事によって祖国であるヤウンモシリ（北海道）、カラプト（樺太）、チュプカ（千島）への愛も強まり、地名の扱いももっと真剣なものになると思います。

さて、この突哨山にはあの世に通じる洞窟があったという伝説がありました。洞窟はありましたが、あの世に通じてはいませんでした。こういった洞窟の伝説は北海道各地にあり、おそらくは旭川でアイヌ語の知識が薄れた後に本で調べたのでしょうか、現在は「アフンルパロ」のアイヌ語が知られていますが、旭川方言では ahunruporu あるいは単に poru です。残念ながらこの洞窟は河川改修によって埋められてしまいました。

Lesson16

Kampinuye 16（Iwampe ikasma wampe）二つの私達
カンピヌイエ　イワンペ　イカシマ　ワンペ　—人称接辞（3）

例　文

1. A: Cimip　ci=hok　kusu　maciya　ekota　paye=as .
チミプ　チホク　クス　マチヤ　エコタ　パイエアシ　**（服を買いに私達は町に行くの。）**
B: Tane　e=montapi　ya ?
タネ　エモンタピ　ヤー　**（あんた今忙しい？）**
C: Somo .　Somo　ku=montapi　korka　ikor　isam .
ソモ　ソモ　クモンタピ　コロカ　イコロ　イサム
（いいえ。忙しくないけどお金がない。）

2. A: Numan　pirka　cimip　an=pa　wa　mawkopirka=an .
ヌマン　ピリカ　チミプ　アンパ　ワ　マウコピリカアン
（私達昨日良い服見つけてラッキーだった。）
B: Korka　e=hok　pe　atayehawke　wa
コロカ　エホク　ペ　アタイエハウケ　ワ　**（けどあなたが買ったのは安くて**
ku=hok　pe　atayeyupke .
クホク　ペ　アタイエユプケ　**私が買ったのは高かった。）**

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
atayehawke	アタイェハウケ	自動詞	値段が安い（atayeは日本語の「値（あたい）」からの借用）
atayeyupke	アタイェユプケ	自動詞	値段が高い
cimip	チミプ	名詞	着物、服
hok	ホク	他動詞	～を買う
isam	イサム	自動詞	無くなる、無い
korka	コロカ	接続助詞	（逆接の意味で文を繋ぎ）～（だ）けれども、しかし～
kusu	クス	接続助詞	（目的を示し文を繋ぎ）～（する）ため
maciya	マチヤ	名詞	町（日本語「町屋」からの借用）
mawkopirka	マウコピリカ	自動詞	運が良くなる、運が良い（「運が悪くなる」、「運が悪い」はmawkowen）
montapi	モンタピ	自動詞	忙しい
pa	パ	他動詞	～を見つける

今日の学習

1．二つの「私達」について
日本語と違いアイヌ語には二種類の「私達」があります。つまり、①**「話している相手を含めない私達」**と②**「話している相手を含める私達」**です。文法用語としては①**が一人称複数除外形**、②**が一人称複数包括形**と呼ばれます。評判はいまいちなのですが、意味の違いをはっきり理解してもらうために、私は①を相手を仲間に入れない「意地悪な私達」、②を相手を仲間に入れる「仲良しの私達」と説明します。勿論①を使ったからといって相手に意地悪をしているわけではありません。あくまでもイメージを喚起するための喩えです。

2．一人称複数の人称接辞の特徴
先に説明したようにアイヌ語には**除外形**、つまり**「相手を含めない私達」**と**包括形**、つまり**「相手を含む私達」**があるのですが、それらは「私達は」、「私達が」という意味の**主格の場合、自動詞に付くか他動詞に付くかによってそれぞれ違った形をとります**。つまり例文に見られるように、

① 一人称複数除外形
自動詞　paye=as　「（相手を含めない）私達は行く」
他動詞　ci=hok　「（相手を含めない）私達は～を買う」
② 一人称複数包括形
自動詞　mawkopirka=an　「（相手を含める）私達は運が良かった」
他動詞　an=pa　「（相手を含める）私達は～を見つけた」

と、**自動詞の場合には①なら　=as　、②なら　=an　が語尾に付きますし、他動詞の場合には①なら　ci=　、②なら　an=　が語頭に付きます**。特に自動詞の場合には人称接辞が語尾に付くので気を付けねばなりませんが、気を付けるあまり他動詞まで間違った人称接辞を使ってしまいがちなので充分注意しましょう。
以上の事からお分かりのように、正しく人称接辞を使うためには自動詞、他動詞をきちんと覚えねばなりません。

3．接続助詞について
Lesson15の例文3には
Kisa　e=o　wa　e=ek ?　「汽車に乗って来たの？」、
Tan　kotan　pakno　ku=apkas　wa　ku=ek.「この村まで私は歩いて来ました。」

という文がありました。今回の例文2にも
Numan　pirka　cimip　an=pa　wa　mawkopirka=an.　「私達昨日良い服見つけてラッキーだった。」
… e=hok　pe　atayehawke　wa　ku=hok　pe　atayeyupke.「…あなたが買ったのは安くて 私が買ったのは高かった。」

と、どの文にも　wa　という言葉が用いられています。いずれも**動詞の後に用いられ、「～（し）て」の意味で二つの文を繋いでいます**。このように様々な意味で**動詞の後に用いられ文と文を繋ぐ働きをする言葉を「接続助詞」といいます**。
今回の例文には　kusu　「～（する）ため」、　korka　「～（だ）けれども」という接続助詞も出てきました。これらの**接続助詞は基本的に文頭に用いられる事はないのですが**、例文2では“ Korka　e=hok …”のように**文頭に　korka　が用いられています。こういった用法を「独立用法」といいます。方言によってそれが可能な接続助詞は異なっています**。後でまとめたいと思いますが、石狩方言で独立用法が可能な接続助詞は以下の表の通りですので覚えておいて下さい。

アイヌ語	文中での主要な意味	独立用法時の意味
ayke	①（ある状態、動作があって、次の状態、動作がある事を示し） ～（する）と ②（ある状態、動作があって、それが予想に反する展開をする事を示し） ～（した）が	①すると～ ②ところが～
ayne	（ある一連の行為が完了した事を示し、次の展開を示す文を導き） ～（し）たあげく、～（し）て	あげくに～、とうとう～ （この時には　aine　アイーネ　と発音される事が多い）
korka	※（左記の単語表参照）	※（左記の単語表参照）
yakka	（逆接の意味で文を繋ぎ） ～（し）ても、～（し）てさえ	それでも～、けれども～
yakne	（良い、悪いなど評価を伴う仮定を示し） ～なら	それなら～
yakun	（一般的な仮定を示し） ～なら	それなら～

Lesson17

Kampinuye 17 (Arwampe ikasma wampe) 君達、あなた
カンピヌイエ　アラワンペ　イカシマ　ワンペ　—人称接辞(4)

例　文

1. A: Tane　neyta　es=okay　ru an　a ?
タネ　ネイタ　エソカィ　ルアナー　（今君達は何処にいるんだい？）
B: Oota-nispa　kor　cise　otta　okay=as .
オオタニシパ　コッチセ　オッタ　オカヤシ　（太田さんの家にいます。）
A: Nep　es=ki　kor　okay ?
ネプ　エシキ　コロ　オカィ　（何をしているの？）
B: Oota-nispa　turano　※inkarsikso　ci=nukar　kor　okay=as .
オオタニシパ　ドラノ　インカラシクソ　チヌカラ　コロ　オカヤシ
※もっと知りたい参照　（太田さんとテレビを見ています。）

2. A: Nisatta　kim　ta　es=paye　ruwe ?
ニサッタ　キム　タ　エシパイェ　ルウェ　（明日あなたは山に行かれるのですね？）
B: Ru　un.　Ku=peray　kusu　ku=oman　ruwe　ne .
ルウン　クペライ　クス　クオマン　ルウェ　ネ　（はい。魚釣りに行くのです。）
A: Aynupata !
アィヌパター　（うらやましいですなあ！）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
aynupata	アィヌパタ	間投詞	うらやましい
ki	キ	他動詞	～をする
kim	キム	場所名詞	（生活の場としての）山
kor	コロ	接続助詞	～（し）ながら
nispa	ニシパ	名詞	（男性の名の後に敬称として用い）～さん
			（女性に対しては katkemat を使う）
okay	オカィ	自動詞	（複数が）ある、いる　（単数形は　an ）
peray	ペライ	自動詞	魚釣りをする
ru	ル	形式名詞	（今日の学習3参照）
ruwe	ルウェ	形式名詞	（今日の学習3参照）
turano	ドラノ	後置副詞	～と一緒に

今日の学習

1. 人称接辞　es=
Kampinuye6で二人称単数の人称接辞　e=　「君は」、「お前は」を学びました。その複数、つまり「**君達は**」、「**お前達は**」が　**es=**　です。例文1ではこの意味で使われています。
それに対して例文2では相手が一人なのに　es=　が使われています。実は石狩方言では**二人称複数の　es=　が敬語としても用いられる**のです。この意味では相手が一人でも二人以上でも　es=　の形ですから、単数か複数かは文脈で判断するしかありません。先に敬語と述べましたが、かつては一人前の男性同士はこの言葉を用いたといいます。
尚、　esi=　の形も時として使われます。

2. 接続助詞　kor
ある動作が継続している事を示す接続助詞　kor　は
Kampisos　ku=nukar　kor　ku=apkas .「私は本を読みながら歩く。」
のように用いられますが、「～している」、あるいは「～していた」という表現では、単数なら「**kor＋必要な人称接辞＋an**」、複数なら「**kor＋必要な人称接辞＋okay**」か「**kor＋okay＋必要な人称接辞**」という形が用いられます。例文1の
Oota-nispa　turano　inkarsikso　ci=nukar　kor　okay=as .
がこれに当ります。ところが、同じく例文1に
Nep　es=ki　kor　okay ?
とありますが、okay　にはあるべき人称接辞が付いていません。実は石狩方言では　**kor**　の前後にある文の主語が同じで、　**kor**　の直後の文が副詞、副詞句といった補語を伴わない自動詞の場合、その数は主語に一致させても人称接辞は省くという事が行われます。使用例からするとむしろ先に見た　kor　の後の自動詞に人称接辞を付ける方が例外に思える程です。同じ現象は　**kor**　と同じ意味の　**kane**　と前回学んだ　**wa**　でも起ります。

3. 形式名詞　ru　と　ruwe
形式名詞　ru　あるいは　ruwe　はある事柄を頭脳で認識し、それが確かであるという事を示します。「～事」、「～の」など文脈に応じて訳されますが、日本語に訳せない場合もよくあります。これまで終助詞　ya　を用いて疑問文を作ってきましたが、「**～は確かなのか？**」というニュアンスを込めて 例文2の
Nisatta　kim　ta　es=paye　ruwe ?
のように　**ruwe　を用いても疑問文を作る事ができます。**　ya　が口承文芸の雅語表現にも用いられるのに対し、ruwe は日常語表現にしか現れません。しかし、使用の頻度は　ya　を凌ぎます。この　**ruwe　で尋ねられて「はい」と答える時には** 例文のように　**ru un**　ですが、時代が下ると　e　と答えた例も見られます。また「**いいえ**」は　**somo**　です。さて例文2では「はい」の返事に続けて
Ku=peray　kusu　ku=oman　ruwe　ne .
と言っています。答えとしては“**Ku=peray　kusu　ku=oman .**”だけでも良いのですが　**ruwe　ne　という言葉を付け加える事によって「確かです」というニュアンスを加えています。**ruwe　ne　と共に旭川方言では　ru　ne　も現れます。この　**ruwe　を使った文に感情がこもった時には　ru an　が用いられることもあります。**
例えば上の文だと“**Ku=peray　kusu　ku=oman　ru　an .**”となります。
また例文1の“**Tane　neyta　es=okay　ru　an　a ?**”の ru an もこれです。
尚、　a　は　ya　とも考えられますが、常に「ルアナー」、「ルアナ」とのみ発音されるので　a　としておきました。

もっと知りたい

例文中に「**テレビ**」の意味で　**inkarsikso**　という言葉が出てきました。これは砂沢クラ媼が伝承するユカラ（英雄詞曲）の中に出てくる魔法の道具で、世界のあらゆる事を映し出すもので、クラ媼自身が「テレビ」に当るアイヌ語として用いました。**この言葉は　inkar-sik-so「見る・目・（に）属するもの」と分解できます。**
長い間アイヌ語が使われなかったため、現在の生活に必要な語彙や表現が多く必要ですが、ユカラは　**cirutuamset「ストレッチャー」、sirar-tuntu「石柱」、sinta「飛行機」**のようにそれらを整えていく上で言葉の宝箱です。石狩川筋のアイヌは少々時間がかかっても、先人の知恵に学びながら志を同じくする人達と話し合って、後世の遺産となるようなアイヌ語を創造継承できるよう努力し、少なくとも先人の遺してくれたものを冒涜しないよう努めていきます。遊び気分で自分の子の母語にする気もない人達の無責任な造語やアイヌ語もどきを私達は断固拒否します。

Lesson18

Kampinuye 18(Tupesampe ikasma wampe) 復　習

カンピヌイエ　　ドペサンペ　イカシマ　ワンペ　— 練習問題 —

Lesson16でアイヌ語には二つの「私達」がある事を学習しました。「話し相手を含めない除外形の私達」と「話し相手を含む包括形の私達」です。これらは自動詞に付くか他動詞に付くかで形が異なりました。今回は良く使われる紛らわしい自動詞と他動詞を中心に一人称複数の人称接辞の練習とKampinuye14～17までの復習をしてみたいと思います。

まず下の表の単語を覚えましょう。

自動詞

アイヌ語		日本語訳
ihok	イホク	買物をする
iku	イク	酒を飲む
inkar	インカラ	見る、目をやる
inu	イヌ	聞く
ipe	イペ	食事をする
itak	イタク	話す

他動詞

アイヌ語		日本語訳
hok	ホク	～を買う
ku	ク	～を飲む
nukar	ヌカラ	～を見る
nu	ヌ	～を聞く
e	エ	～を食べる
ye	イエ	(物事)を言う、(人)　に言う

(注)ye　に　an=　が付く場合は普通　a=ye「アイェ」と発音されます。

練習.1

上の表の単語に一人称複数除外形と包括形の接辞を付けて言ってみましょう。
(ついでに 自動詞　okay　「いる」、他動詞　ne　「～です」、「～になる」も言ってみましょう)

例：(自 動 詞)＝(人称接辞)
(人称接辞)＝(他 動 詞)

練習.2

pan「パン」とsake「お酒」とCD「ＣＤ」とsasinnoka「写真」があります。
また、Oota-nispa「太田さん」もいます。

① Nep　es=ki　ya？　「君達は何をしたんですか？」と聞かれたとして、
表の動詞や上の名詞を使って「私達は～した」と答えてみましょう。
自動詞で答えた場合と、あるいは他動詞を使って「何を」「誰に」なのかを具体的に言ってみましょう。

例：(自動詞)＝(人称接辞)
(何、誰)(人称接辞)＝(他動詞)
※ヒント：聞いている相手は「私達」に含まれない。

② Nep　an=ki　ya？「私達は何をしたっけ？」と仲間の一人から聞かれたとして、①のように答えてみましょう。
(何、誰)(人称接辞)＝(他動詞)

練習.3

Numan　neyta　es=okay　wa　nep　es=ki　ru　an　a？「昨日君達何処にいて何をしたんだい？」の　ki　「～をする」という他動詞を別の他動詞に換えて尋ねてみましょう。
また「私達は～にいて～をした」とその答えを言ってみましょう。

例：Numan　neyta　es=okay　wa　nep　es=(　　)　ru　an　a？
Tani-nispa　kor　cise　otta　okay=as　wa　pan　ci=e．
「私達は谷さんの家にいてパンを食べた。」

※ 参考：kor cise「～の家」や　kotanu「～の村」などを使えばいろいろ言える。

練習.4

Sake　es=ku　ruwe？　　「君達は酒を飲むの？」
- Ru un．Sake　ci=ku．　　「はい。私達は酒を飲みます。」
- Somo．Sake　somo　ci=ku．「いいえ。私達は酒を飲みません。」

①上の例のように　ruwe　を使った質問をし、「はい」、「いいえ」の答えを言ってみましょう。

②上の例文を
Sake　es=ku　kor　okay　ruwe？　　「君達は酒を飲んでるの？」
- Ru　un．Sake　ci=ku　kor　okay．　　「はい。私達は酒を飲んでいます。」
- Somo．Sake　somo　ci=ku　kor　okay．「いいえ。私達は酒を飲んでいません。」

のように接続助詞　kor　を用いて①と同じように練習してみましょう。

Lesson19

Kampinuye 19（Sinepesampe ikasma wampe） ～しよう
カンピヌイエ　シネペサンペ　イカシマ　ワンペ　―― 勧誘の表現

例　文

Turepta=an　kusu　paye=an　ro！
ドレプタアン　クス　パイェアン　ロー　**（ウバユリ掘りに行きましょう。）**

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
ro	ロー	終助詞	～しよう、しましょう
turepta	ドレプタ	自動詞	ウバユリ（の鱗茎）掘りをする

今日の学習

1．勧誘の表現

誰かに自分、あるいは自分達と一緒に「～しよう」と誘ったり、促したりする時には例文のように**一人称複数包括形の人称接辞を付けた動詞を用い、文の最後に終助詞　ro　を置きます。**この　ro　の代わりに旭川では　rok　を用いる場合もあります。

例文では自動詞ですから人称接辞は語尾に付いていますが、他動詞の場合は

Tampe an=e ro！（これを食べましょう！）　のように語頭に付きますので注意して下さい。

尚、雅語として　kimoyki　「山菜取りをする」がありますが、日常語としては「採るものの名＋必要な他動詞」で「～を採る」という表現をします。アイヌ語ではどういった採集方法かで使われる動詞が異なります。付録として挙げておきましたので参考にして下さい。

もっと知りたい

今回は川村久恵さんに旭川での伝統的な、あるいは今日行われている植物の利用法をうかがいます。

春から夏にかけて採集する植物

アイヌは実に様々な植物を利用して生活してきました。その数は470種以上と言われています。採集はそれぞれの植物の利用に最も適した時期に合わせて的確に行われました。アイヌ語では「草」といっても有用なものを　kina　、そうでないものを　mun　と区別します。また植物の名称はその有用部位にだけ付けられ、全体を指す言葉はありません。

植物を採集しに山に行く時には必ず、「採らせて下さい」と山の神に祈るものです。自然が豊かにあった時代にも昔の人は採り過ぎる事を戒めていたのに、昨今では山菜ブームとあって根こそぎにしてしまう人もいるようですが、本当に残念な事です。山の中で人がいなくても、神様がきちんと見ている事を知って欲しいと思います。

aha　アハ　＜ヤブマメの地下果実＞

雪が溶けると待ち構えたようにこの豆を掘り出します。土の中から姿を現した豆をふき取るとピカピカと日に輝き、宝物のようです。甘味があり、ご飯と一緒に炊くととても美味しいものです。夏には白と紫色の花が咲き、さやに入った小さな豆もつきますが、食べられるのは地下に実る豆だけです。

makayo　マカヨ　＜フキノトウ＞

和人も他の地域のアイヌも食べますが、石狩川筋のアイヌは気味悪がって何故か食べませんでした。その様子は松浦武四郎の日誌にも記されています。人間世界に悪さをしたオイナカムイの妹が罰を受けフキノトウになったという神謡が伝わっていますが、何か関係があるのでしょうか。

korkoni　コロコニ　＜フキの茎＞

皮をむいて生食したり、茹でて皮をむき食材にしました。また薬用にもしました。葉は　korham　と言いますが、小屋の材料、包装材、鍋、合羽からトイレットペーパーまで、あらゆる事に用いました。後に述べる　turep　を醗酵させる時にも使います。

kito（kitopiro）　キト（キトピロ）＜ギョウジャニンニク＞

haruikkew「植物の背骨＝主要な食料」とも呼ばれ、アイヌにとって最も大切な食糧の一つです。太くて大きいものを沢山採ってきては、1.5cmぐらいに刻んで乾燥させ保存しました。

puy　プィ　＜エゾノリュウキンカの根＞

日本語では俗称のヤチブキの方がよく知られています。和人同様に**茎の部分　puyra**　も食べますが、アイヌにとっては根の方が大切な食糧でした。見かけが悪くほのかな苦味がありますが、澱粉を含んでいて、油で揚げるとフライドポテトと同じ味がします。昔は茹でて筋子を付けて食べたそうです。

toma　トマ　＜エゾエンゴサクの塊茎＞

春の初め、山野草木が一斉に芽吹く頃、エゾエンゴサクも青紫の美しい花を咲かせます。旭川の嵐山にはこのエゾエンゴサクとカタクリとが一緒に群生していて、それは美しい景色を見せてくれます。その美しい花の下、土の中に澱粉を含み大切な食糧である塊茎が眠っています。花が散ってからこれを掘るのですが、その時には葉も枯れてしまうため、ぼやぼやしていると探すのに苦労する事になります。

turep　ドレプ　＜エゾオオウバユリの鱗茎＞

松林の下などに群生して夏には黄白色の花を咲かせます。その根元に花を咲かせないけれど艶やかな大きな葉を広げている株がありますが、これをアイヌ語では　matneturep　「女性のウバユリ」と呼んで、花の咲く「男性のウバユリ」と区別しました。しかし実際には雌雄の株がある訳ではなく、「女性のウバユリ」の状態で数年生えては枯れを繰り返しながら鱗茎を大きくしていき、「男性のウバユリ」の状態になり種子と鱗茎の周囲の子株を残して、今度は本当に枯れてしまいます。旭川のアイヌ女性たちは6月ころになると毎日山に行き、**saranip**　と呼ばれる**編み袋**いっぱいに採って来ては暮していました。これだけでも大変な労働ですが、更に大変なのが沢山採って来たウバユリから　irup　「澱粉」を採る作業です。鱗茎を洗ってほぐし、潰して水にさらし、澱粉（一番粉）を採ります。澱粉を採った後のものを更に水にさらして二番粉を採る事もありますが、旭川では普通それをせず、**幾分か澱粉を含んだ繊維質を醗酵させ、大きなドーナツ形に固めて乾燥させ保存食とします。これを　turepakam　と呼びます。**削ってお粥などに入れて食べます。

cikapkina　チカプキナ　＜エゾカンゾウの茎、葉＞

初夏に燈黄色の花を付け群生しています。昔はどう利用していたか不明ですが、知里幸恵がこの花を愛でたという事から、現在では毎年6月8日に旭川近文のアイヌと和人有志が北門中学校で行っている知里幸恵誕生祭に献花として用いられています。新しい文化と共に新しい利用価値が生まれた訳で、今後は　cikapkina-epuy　あるいは　cikapkina-apappo　「エゾカンゾウの花」の方が主に使われていくかも知れません。

付　録

植物の部位にまつわる名詞

apappo	花
ay	棘（所属形　aye）
ca,cay	小枝、枝の先の細枝
emukkaneepuy	蕾
epuy,epuyke	芽、蕾、花、実
ham	葉
ik	（竹などの）節（所属形iki）
kap	（木等の）皮（所属形kapu）
ken	（地上から生える針状の）芽（所属形　keni）
netopa	（木の）幹、（草の）茎
ni	（合成語の構成要素として）幹
nihom	木の節
nikaop	木の実
nit	（草の）茎（所属形 nici）
nitomtom	小さい木の節
nitumam	木の幹
ous	根元（所属形　ousi）
pe	（木や草の）汁
pi	種（所属形は　piye）
punkar	蔓
ra	（地下茎や根が食べられる植物の）葉
sinrit	根（所属形　sinrici）
sup	（木の）幹（所属形　supi）
tek	（木の）枝（所属形　teke）

植物の採集にまつわる他動詞

ca	（ガマなどの茎）を刈り採る
haypa	（コウホネなど水中に沈んでいるもの）をまさぐって採る
kar	（地上、あるいは木などから葉や茎や実）をもぎ採る
ta	（地中にある地下茎や根）を掘り採る
ta	（木材）を切って採る（注：単に「切る」行為を表わす時には単数形　tuye　複数形　tuypa を用いる）
uk	（地面に落ちている木の実など）を拾って採る、（水上のヒシの実など）を採る（複数形 uyna）
yanke	（鉤を使って水上にコウホネなど）を揚げて採る

Lesson20 Kampinuye 20(Hot) 私に下さい
カンピヌイエ　ホッ　— 依頼の表現、人称接辞(5)

例　文

1. A: Tanto　onuman　uenewsar=as　kusu
タント　オヌマン　ウエネゥサラシ　クス　（今晩私達集まって楽しむので
topempe　poronno　ku=hok　wa .
トーベンペ　ポロンノ　クホク　ワ　私、お菓子沢山買ったよ。）
B: Ponno　ku=e　rusuy　na .
ポンノ　クエ　ルスィ　ナ　（少し食べたいな。）
Sinep　en=kore　ya !
シネプ　エンコレ　ヤー　（一つ ちょうだい。）

2. A: En=ekota　inkar　yan !
エネコタ　インカラン　（こっちを見なさいよ。）
B: Nep　ta　es=kor　wa　arki ?
ネプ　タ　エシコロ　ワ　アラキー　（一体何を持って来たのですか？）
Un=nukare　wa　un=kore　yan !
ウンヌカレ　ワ　ウンコレ　ヤン　（私達に見せて下さい。）
A: Inkar　yan !　Icaniw　poronno　ku=koyki　wa .
インカラン　イチャニゥ　ポロンノ　クコィキ　ワ
（ほら。サクラマスを沢山獲ったんだよ。）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
icaniw	イチャニゥ	名詞	サクラマス
kore	コレ	他動詞	～に～を与える
koyki	コィキ	他動詞	～を獲る
kusu	クス	接続助詞	（理由を示し）～（だ）から、～なので
na	ナ	終助詞	～（だ）よ、～（だ）ぞ
ponno	ポンノ	副詞	少し
poronno	ポロンノ	副詞	沢山
rusuy	ルスィ	助動詞	～（し）たい
ta	タ	副助詞	※名詞や副詞などの後に置かれて直前の語を強調する。「一体」などと訳される事もあるが、適当な訳語が見つからぬ場合もある。
topempe	トーペンペ	名詞	甘いもの、（甘い）お菓子
uenewsar	ウエネゥサラ	自動詞	話や歌や踊りをして楽しむ
wa	ワ	終助詞	～（だ）よ、～（だ）わ
ya	ヤ	終助詞	（人称接辞 e= で呼ぶ相手に対し命令を和らげ）～（して）よ
yan	ヤン	終助詞	（人称接辞 es= で呼ぶ相手に対し命令を和らげ）～（して）よ、（～して）ください

今日の学習

1. 人称接辞の目的格

今まで学んできた人称接辞は「～は」、「～が」という主格、「～の」という所有格の形でした。今回の例文中の　ku=、=as、es=　がそれです。それに対し「～に」、「～を」という目的格の場合　en=、un=　が使われています。このように**人称接辞は例えば「私」といっても、それが主格、所有格であるか、目的格であるかによって全く違った形になります。**

表からも分るように形が変わるのは一人称だけですから、しっかり覚えましょう。

尚、例文2に“ En=ekota inkar yan ! ”とありますが、ekota　は後置副詞です。

このように**人称接辞の目的格は他動詞の目的語となる時ばかりではなく、後置副詞と共にも用いられるのです。**よく使う表現として「私と一緒に」は　en=tura　あるいは en=turano　となります。

単数	主格（～は、が）所有格（～の）	目的格（～に、を）	複数	主格（～は、が）所有格（～の）	目的格（～に、を）
一人称（私）	ku=	en=	一人称除外形（相手を含まぬ私達）	=as ci=	un=
			一人称包括形（相手を含む私達）	=an an=	i=
二人称（お前）	e=	e=	二人称（お前達、あなた達）	es=	es=
三人称（彼・彼女）	なし	なし	三人称（彼らなど）	なし	なし

2. 命令の表現

誰かに「～しなさい」と行動を促す**命令文の基本形は**
Ek !　「来い。」
En=kore !「私にくれ。」
のように**人称接辞の主格が付かない形の動詞を用います。**またこれは
Ek !　「（一人に対して）来い。」
Arki !　「（二人以上に対して）来い。」
のように、**動詞によっては命令する人数によって単数形と複数形を使い分けます。**しかし、**これらの形はぞんざいすぎて、人に対しては滅多に使うものではないと思われ**ます。実際には例文に見られるように**命令文の終りに終助詞　ya　あるいは　yan　を用いた表現が普通です。**これらは
人称接辞　e=　で呼びかけるような相手に対しては「動詞の単数形＋ya 」
人称接辞　es= で呼びかけるような相手に対しては「動詞の複数形＋yan 」
と使い分けられます。この　ya　や　yan　自体は意味的に「～（して）よ」くらいの軽いものですが、文体や文脈などに応じて「～（して）ください」と和訳される事もあります。

さて、例文1 の“ Sinep en=kore ya ! ”はお菓子を一つ私にください と言っているのですが、
例文2の“ Un=nukare wa un=kore yan ! ”では何か物をくれと言っている訳ではありません。
日本語にも「～してください」と同じ表現があるため理解し易いと思いますが、
「私」に対しては「命令文の基本形＋en=kore 」
「私達」に対しては「命令文の基本形＋un=kore 」
に、必要に応じて既に説明した　ya　あるいは　yan　を文末に用い、相手に促す行動が誰のためになされるのかをはっきりさせます。

3. 終助詞　na　と　wa

文末に用いられ、日本語の「～よ」や「～わ」のように述べた事柄に感情を込めます。wa　は文を和らげていると思われ、杉村キナラブゥ媼の伝承では美しく年若い女性が丁寧に話す台詞では専らこれが現れます。また門野ナンケアィヌ翁の言葉遣いにもよく現れ、翁の優しい人柄が伝わってきます。

na　は感情の高まりを示し、いろいろな意味があるので文脈や実際の言葉の抑揚を知らねば判断できぬ場合がありますが、相手に強く念押しするような文にも多く用いられます。

Lesson21

Kampinuye 21 (Sinep ikasma hot) してはいけない
カンピヌイエ　シネプ　イカシマ　ホッ ― 禁止の表現、人称代名詞

例　文

A: Ku=kor totto ponesapa en=kore wa !
クコットット　ポネサパ　エンコレ　ワ　（お母さんが骨付き肉をくれたよ。）

B: Aynupata ! Kuani ka ku=kepkepu rusuy !
アィヌパター　クアニカ　クケプケプ　ルスィ　（いいな。私も食べたい。）

Totto , ponesapa en=ere !
トットー　ポネサパ　エネレー　（お母さん骨付き肉食べさせて。）

C: Eani anak tane e=opataci kusu
エアニ　アナク　タネ　エオパタチ　クス　（お前は今腹をこわしているから

ecikki e ya !
エチッキ　エ　ヤー　食べてはだめよ。）

E=e kunip an kusu ponno en=tere ani !
エエ　クニプ　アン　クス　ポンノ　エンテレ　アニー
（お前が食べる分はあるから少し待つんだよ。）

A: Ku=saha , eciki cis no hotke wa an ani !
クサハ　エチキ　チシ　ノ　ホッケ　ワ　アナニー
（お姉ちゃん、泣かないで横になっててよ。）

Kuani ka e=tura ci=e na .
クアニカ　エトゥラ　チエ　ナー　（僕もそれを一緒に食べるね。）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
ani	アニ	終助詞	（自分と同格、あるいは目下の相手に親しみを込めて）～（し）なさい
cis	チシ	自動詞	泣く
eciki	エチキ	副詞	～（する）な
ecikki	エチッキ	副詞	～（する）な
ere	エレ	他動詞	～に～を食べさせる
hotke	ホッケ	自動詞	横になる
kepkepu	ケプケプ	他動詞	～を歯でこそぎとって食べる
kunip	クニプ	助動詞＋形式名詞	（動詞の後に用いられ名詞句、名詞を作り）～（す）べき者、物
no	ノ	接続助詞	（否定の意味の動詞の後に用いられ、文を繋ぎ）～（せず）に
opataci	オパタチ	自動詞	腹をこわす、下痢をする
ponesapa	ポネサパ	名詞	骨付き肉
tere	テレ	他動詞	～を待つ

今日の学習

1．禁止の表現について

「～するな」、「～しないで下さい」と言う**禁止の表現**には、例文のように**副詞　eciki**　を用います。これも否定の副詞 somo　と同じく**絶対に動詞の前に用いられ**（注１）、**通常「 eciki＋命令文」の形をとります**。また、**単独で“ Eciki ! ”「だめ！」といった用い方ができます**。例文には　ecikki　の形も出てきますが、これは　eciki　をより強めた言い方で、「決して～（する）な」と訳す場合もあります。

例文に“… eciki cis no hotke wa an ani !”という表現がありますが、**通常　wa　で結ばれる文で先行する文の動詞が否定の意味を持っている場合**（注２）、**接続助詞は　no　が用いられるという決まりがあります**。ただし　no　の使用は絶対という訳ではなく　wa　が用いられている例もあります。

※注１　somo　の場合は“ Cep somo ku=e .”「私は魚を食べない。」のように somo と動詞の間に入るのは人称接辞だけで、目的語や補語などの位置は　somo　の前になります。実際には接辞として動詞と一体化しているため単語が挿入されているのではないので、正確には　somo と動詞の間には基本的に如何なる品詞も用いないと言った方が良いでしょう。“ Somo cep ku=e .”のように文頭に somo が用いられる事がありますが、これは「私が魚を食べる事はない」のような文全体の否定を表わしている時です。それに対して ecikiは動詞の前であれば“Eciki cep e !”でも“ Cep eciki e !”でもよく、「魚を食うな！」の意味は変わりません。

※注２　多くは somo＋動詞 の形で否定形を作りますが、これまで出てきた an 「ある」に対する isam 「ない」のように、アイヌ語には somo を用いず否定の意味を表わす動詞が幾つか存在します。こういった動詞の後にも、やはり　no　が用いられるのです。

2．人称代名詞

これまで「私は」、「私の」、「私を」などの人称を表わす言葉を学んできました。アイヌ語でこれらは接辞と呼ばれる形で動詞の語頭、あるいは語尾にぴたりと付きました。それに対し日本語の人称は「私」という代名詞が様々な助詞を伴って用いられますし、「私」という単独でも用いられます。アイヌ語の人称接辞は　ku=　などと単独で用いる事はおろか、ka 「～も」、 anakne 「～というものは」 という副助詞と共に用いる事もできません。そういった時に用いられるのが**人称代名詞**で、例文の　kuani　や　eani　がそれです。これらは**ほとんどの場合**、例文に出てきたように**副助詞と共に用いられるだけですし、これを用いても動詞の人称接辞は絶対省きません**。右の表にまとめましたので覚えてください。

	単数	複数
一人称	私 ｋｕａｎｉ	私達（除外形） ｃｉｏｋａｙ 私達（包括形） ａｎｏｋａｙ
二人称	お前 ｅａｎｉ あなた（敬称） ｅｓｏｋａｙ	お前達、あなた達 ｅｓｏｋａｙ
三人称（彼、彼女）	なし	なし

尚、三人称については指示代名詞　neakur 「その人」、 nea menoko 「その女」、 nerok utar 「その人々」などを「彼」、「彼女」、「彼ら」といった人称代名詞的に用いる事も可能です。もしかしたら後世のアイヌ語では人称代名詞になっているかも知れません。

石狩紀行（11）ー永山（1）

旭川市の永山は川村家、荒井家、杉村家など上湧別系のアイヌが古くより居住していました。しかし、神居古潭や高い山々といった要害に守られたアイヌの土地も、明治になって大量にやってきた和人の開拓によって次々と奪われる事になりました。しかし、当地にやって来た和人が悪かというと、実はそうではなく、彼らの多くも日本の植民地政策の被害者でもありました。北海道では一般に屯田兵や開拓民が未開の原野を切り開いた、苦労はあっても明るい未来を築く希望に満ちた開拓時代の歴史があったかのように言われます。しかし、真実を知るほど、そんな楽しい思いをしていたのは一部の汚職役人と内地の資本家、人殺しや詐欺師といった犯罪者だけではないかと思えてしまいます。

石狩方言に　akampu 「囚人」という言葉があります。これは逃亡してもすぐ見つけられるよう昔の囚人服が赤かったので、「囚人」を日本語で「赤んぼ」と俗称していたのがアイヌ語に入ったものです。囚人といっても明治政府に抵抗した旧幕臣や東北諸藩の藩士、自由民権運動の活動家達です。彼らは道路施設など過酷な労働に従事させられ、多くの人が死にました。こういう希望のない境遇から逃亡を謀る者も少なからずいて、砂沢クラ媼は当時の様子をアイヌ語で生々しく記録しています。次回はその一部を紹介したいと思います。

Lesson22

Kampinuye 22(Tup ikasma hot) アイヌ語の文化的背景について(1)

カンピヌイエ　ドプ イカシマ ホッ

これまでアイヌ語の文法の解説に終始して、なかなかその文化的背景に触れられずにきました。文法の知識は外国語を正しく運用するため絶対必要なものです。しかし、文化的背景の知識を欠けば、それを守り伝えている民族に受け入れられぬものになります。そこで今回はその幾つかを紹介したいと思います。

1.川に関わる表現について

川はかつてのアイヌにとって生活の糧を得たり行き来したりと、集団のアイデンティティを成すくらい大変重要なものでした。ですから川に関する語彙や表現はとても豊富で、地名や昔話を学ぶ上でもきちんと理解しておかなければなりません。しかし、それらの背景にある考えは日本語と異質なものもあり、日本語に正確に訳せないものがあります。

例えば、川が流れている様子をアイヌ語で　pet oman　「川が行く」と表現しますが、日本語では山から海へ行く姿を思い浮かべます。しかし、アイヌ語で川は逆に海から山に行くのです。勿論、北海道やサハリン、千島列島などの川が逆流している訳ではありません。水自体は山から海に流れているのですが、命がある川は海から山へと上って行っていると考えられたのです。上川支庁旭川市と空知支庁深川市の間を流れる石狩川左岸支流に「内大部川」があります。この更に支流に「ヌプリコヤンナイダイベ川」がありますが、このアイヌ語名　Nupurikoyannaytaype　の nupurikoyan　は「山に上る」という意味です。先に「左岸」と記しましたが、これは和人の習慣に従っての事で、アイヌ式には反対の「右岸」となります。このようにアイヌ語で川が流れる事に関して用いられる動詞は　oman　か　yan　になります。mom　「流れる」は水流によって下る人や物にしか使えません。また、流域の描写は伝統的に下流から上流に向かって述べられていきます。

命ある川は　wakkauskamuy　「水の神」として祀られます。石狩川筋に住む者にとって、Iskarpetkamuy　は wakkauskamuy　の別名です。勿論、その支流も神なのですが、石狩川本流の神の分身なのか、あるいは子なのかなどは宗教的解釈が異なるものと思われます。私自身は支流の空知川を石狩川の子として祭礼を行っています。さて、飲料水は生物全てにとってなくてはならぬものですが、アイヌは命を育む川の水を「水の神」の乳と考えました。石狩支庁厚田区安瀬を流れる小河川に　Kamuytonumpet　あるいは　Tomompet　などという川がありますが、この　tonum　あるいは　tomom　は共に「乳首」という意味です。また、祈り言葉としても“… wakkauskamuy , a=kor tope ecirir tope ane (＞an hi ne) wakusu utatturano ratcisukup sirutu siri …”「…水の神よ、あなたの乳、滴り流れる乳があったが故に皆共に平和な暮らしがおくれます様子…」などと讃えます。かつて石狩アイヌと十勝アイヌで紛争があった時、石狩陣営の代表シラッテッカは　ukocaranke　「論戦」の席で石狩の者も十勝の者も同じ大雪山から出た水を飲み育った乳兄弟と述べ、敵味方双方の賞賛のうちに戦いは回避されたと言います。

さて、昔は川筋に沿って行き来する事が多い訳ですが、その際　turasi　「～に沿って上流に」、esoro　「～に沿って下流に」という後置副詞がよく用いられます。これは　petturasi　「川沿いに上流に」、petesoro　「川沿いに下流に」ともなります。「川沿いに上流に行く」　petturasi oman　はここまで学習されてきた皆さんにもすぐ分ると思います。それでは「川沿いに下流に行く」はどうでしょう。答えは　petesoro san　です。

san（複数形 sap ）という今までに出てこなかった自動詞が用いられています。これは「（山から里、山側から海側、家から川辺や海辺などに）下りる」、「（支流から本流に）出る」、「（伝統的家屋で壁側から炉の方に）行く」などの意味で昔話に頻出する重要単語ですが、文化的な背景を知らねば使いこなせない厄介な単語です。

尚、余談ながら、pet　とはもともと「細長く裂けたもの」の意味で、「指」をアイヌ語で　askepet　と言いますが、これは　aske　「手首より先の手」の　pet　「細長く裂けたもの」だからです。この　pet　に接尾辞　u　が付いて出来たのが　petu　「～を細長く裂く」という他動詞です。 nay　「沢」も元は「筋」を意味していて、やはり　naye　「～に線を引く」という他動詞があります。

2.二つの山と海

アイヌ語で「山」や「海」という場合、それぞれ二つの異なった言葉があります。
つまり、

① nupuri　「山」（名詞）　：　atuy　「海」　（名詞）
② kim　「山」（場所名詞）　：　rep　「海、沖」（場所名詞）

です。①は聳え立つ山とか七つの海と言う時の地理的概念としての山や海です。それに対して　②は山に猟に行くとか海で漁をするという時の生活の場としてのものですから、それが聳えたりそれを数えたりできません。 rep　については日本語にも「海」とは別に　rep　に近い「沖」という言葉がありますが、完全に両者が一致する訳ではないので注意が必要です。江戸時代の鎖国のせいでしょうか、日本語で「沖」といえば漁業が思い浮かびます。ところが本来交易の民であるアイヌにとっての　rep　は漁業のみならず、交易品を携え異国に渡る自由な空間でした。この　rep　「沖」に接尾辞　a　が付いて出来た　repa　は「（交易のため）船を出す」、「（交易のため）航海する」という自動詞です。

いろいろな障害をものともせず海を渡るアイヌの姿は各地に伝承された口承文芸の中に描かれています。自由な交易は江戸時代、松前藩によって徐々に制限が加えられ、終には漁場に押し込められ、わずかな舶来品のため命を削り、あるいは山野海浜にのみ生活の糧を求めざるを得ないようになりました。現在歴史的に矮小化させられてしまったものが、あたかもアイヌ文化の全てであると思われがちですが、かつて北の交易を支えた情熱をもって日本一国に止まらず広く海外に雄飛し、新たなユカラの時代を創造していきたいものです。

石狩紀行(12)ー永山(2)

前回予告した通り、今回は砂沢クラ媼が記した囚人労働の伝承を紹介します。媼の「昔の話」と題したノートには石狩川筋を中心に実際に事実と考えられる伝承や事実の聞き書き、本人の体験記が収められています。これには初稿のものと、後で全面的に書き直したものの二種が存在しますが、今回は後者を引用します。原文にはアイヌ語と共に一部和訳がなされていますが、ここではアイヌ語に即して訳しなおしましたので了承下さい。また単語や文法項目についてもまだ学習していないものがありますが、ここでは解説しません。

Orowa naa ekasi pewre i ta Kimkuspet kuske ta okay i ta akampu poronno an=eiwanke , okay wa eru akampu ukoyki , urayke kusu ne irayekur riwka teke an=kosina . Rekuttuypoki ta noko an=anu wa riwka kus kur assuy ne noko etaye kor easir riwka kasi kus . Neampe sine huci nukar wa imu kor terketerke , rekutyoni .
Ne huci naun pakno an wa an=imure kor iruska ,
“ Kamiasi utar , ku=ray yak nep emina kunip ta awokay ya ?!”,
sekor yaykoniwen .

（訳）

それからまだお爺さん（川村モノゥテ翁）が若い時に、キンクシペッの対岸で暮していた時に囚人が大勢使われていて、囚人同士が喧嘩し、殺しあったので、その殺人者が橋の欄干に縛りつけられました。首の下の方に鋸が置かれて、橋を渡る人は一回その鋸を引いてはじめて橋を渡りました。それを一人のお婆さんが見てイムするとピョンピョン跳ね、首を縮めました。

そのお婆さんは長生きして、イムさせられると怒り、
「怪物どもめ、わしが死んだら何を笑うと言うんだ？！」、
とすごい顔で怒りました。

明治になって鋸引きの刑とは驚きです。本州では当時こんな処刑が行われていたのでしょうか。文中にあるイムとはアイヌ民族に特有の陽性ヒステリーですが、お婆さんにとっては本当に大災難でした。しかし、ここで言う囚人については前回記した境遇の人達でした。北海道といえば美しい自然ばかりが宣伝されますが、アイヌやこういった囚人、もう少し時代が下るとタコ部屋労働者など内地の発展のために犠牲となった者がいた事を忘れてはいけません。

Lesson23

Kampinuye 23（Rep ikasma hot） 楽しいアイヌ語（1）

カンピヌイエ　　レプ　イカシマ　ホッ

今回は旭川の親子アイヌ語教室のちびっ子と一緒にアイヌの伝統的な言葉遊びや歌を学びましょう。

早口言葉

Tana−Tana
タナ　タナ
Tokikapo
トーキカポ
Tarke
タラケ
Yuktumakiwka
ユクドマキゥカ
Nahute
ナーフテ
cococo！
チョチョチョ

Kunike
クニケ
Sokapo
ソカポ
Asarsar
アサーラサラ
Ampatopakiwka
アンパトパキゥカ
Natarampa
ナータランパ

これは人間に文化をもたらしたオィナカムィが愛犬の名を呼んだものとして各地で伝承され異同があります。上に挙げたのは杉村フサさんが伝承しているものです。犬は10匹と伝えられていますが、最初の　Ｔａｎａｔａｎａ　を一つの名とする人がいる一方、　Ｔａｎａ　という名前を二度呼んだと考える人もいたようで、旭川市近文では　Ｔａｎａ　が日本語の「ポチ」のように犬の代表的な名の一つになっていました。尚、最後の「チョチョチョ」は単語ではなく、犬を呼ぶ時の独特な舌打ち音です。これについては子供の方が大変上手に発音しますので、よく聞いて下さい。

歌　謡

Optateske
オプタテシケ　　**オプタテシケ山**
Purpurke
プルプルケ　　**湧く**
Niskur　ka　ta
ニシクル　カ　タ　　**雲の上**
Kani−ponceppo
カニポンチェッポ　　**金の小魚**
Kamuy　esinot
カムイェシノッ　　**で神が遊ぶ**
E　hum　e　hum
エ　フーム　エ　フーム

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
esinot	エシノッ	他動詞	～で遊ぶ
ka	カ	位置名詞	～の上
kamuy	カムィ	名詞	神
kani-ponceppo	カニポンチェッポ	名詞	金の小魚
niskur	ニシクル	名詞	雲
Optateske	オプタテシケ	固有名詞:地名	オプタテシケ山　※Lesson6の石狩紀行（5）を参照
purpurke	プルプルケ	自動詞	（水や雲が）湧く

皆さんも一緒に歌って覚えましょう。

MEMO

Lesson24

Kampinuye 24（Inep ikasma hot） できる、できない
カンピヌイエ　イネプ　イカシマ　ホッ　— 助動詞（1）

例　文

1. A: An=utari iposse ani e=itak easkay hawe ?
アヌタリイポッセ　アニ　エイタク　エアシカィ　ハウェ　（アイヌ語で話せるってかい？）
B: Ponno ku=easkay korka
ポンノ　クエアシカィ　コロカ　（少しできますが
na pirkano ku=itak eaykap .
ナー　ピリカノ　クイタク　エアィカプ　まだ上手く話せません。）

2. A: Es=osura menoko es=oyra koyaykus ruwe ?
エソスラ　メノコ　エソィラ　コヤィクシ　ルウェ（別れた奥さんの事忘れられないの？）
B: Paw ! Ohonno ku=oyra ru un !
パーゥ　オホンノ　クオィラ　ルウン　（もー。ずっと前から忘れてるよ。）

3. A: Ku=onne wa ku=as wa ku=an ka nukuri .
クオンネ　ワ　クアシ　ワ　クアン　カ　ヌクリ　（わしは年取って立っていられない。）

4. A: E=ye p ku=erampetek .
エイエプ　クエランペテク　（君の言う事が分かりません。
Ku=eraman kunip e=ye nankor na .
クエラマン　クニプ　エイェ　ナンコンナ　分かるように言うんですよ。）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
ani	アニ	後置詞	（道具）で
an=utari iposse	アヌタリ・イポッセ	名詞	アイヌ語（ an=utari iposse は直訳すると「わが同族の言い方」）
as	アシ	自動詞	立つ（複数形は　roski ）
easkay	エアシカィ	①他動詞②助動詞	①～ができる：②～（する事が）できる
eaykap	エアィカプ	助動詞	～（する事が）できない
eraman	エラマン	他動詞	～を理解する、～が分かる（複数形は　eramuokay ）
erampetek	エランペテク	他動詞	～を理解しない、～が分からない
koyaykus	コヤィクシ	助動詞	（したくても）～できない
hawe	ハウェ	形式名詞	※今日の学習4参照
na	ナー	副詞	まだ
nankor	ナンコロ	助動詞	～（する）のだ
nukuri	ヌクリ	助動詞	（体調により）～できない
ohonno	オホンノ	副詞	長い間
onne	オンネ	自動詞	年老いる、年老いている
oyra	オィラ	他動詞	～を忘れる
paw	パゥ	間投詞	（相手の発言に対しあきれたり不満や反発を示し）もう、全く、嫌だ
ru un	ルウン	形式名詞＋副助詞	（ ruwe ne　より強い断定を表わし）～です

今日の学習

1．助動詞について
Kampinuye20で既に“ Ponno ku=e rusuy na .”「少しそれを食べたいな」という例文で「～（し）たい」という助動詞 rusuy が出てきました。今回の例文でも“ An=utari iposse ani e=itak easkay hawe ?”など様々な助動詞が出てきます。
一見してお気付きのように、**助動詞は必要な人称接辞をとった動詞の後に人称接辞なしで用いられます。**
また、動詞と助動詞の間に副助詞　ka「～も」を用いると
An=utari iposse ani e=itak ka easkay hawe ?「アイヌ語で話す事もできるんだってかい？」
と日本語に似た使われ方もしますが、通常それ以外の言葉は用いられません。
助動詞は必ず動詞と共に用いられ、単独で用いる事はできません。例えば、「私はそれがしたい」とだけ言いたい時には ku=ki rusuy としか言えません。しかし、例文1に“ Ponno ku=easkay korka …”「少しそれができますが…」とあります。これは形こそ同じですが別の品詞、すなわち他動詞だからです。助動詞の中にはこの様に同形の他動詞を持つものがあるので注意が必要です。

2．可能、不可能を表わす助動詞について
「～できる」という可能を表わす助動詞は　easkay　一つですが、「～できない」と不可能を表わすものは例に挙げたように沢山あり、それぞれ少しずつ意味が違います。単語の欄に挙げましたが、その他のものを加え見やすく表にまとめてみます。

eaykap	（能力的に）～できない　（これが不可能を表わして最も多く用いられる）
koyaykus	（したくても）～できない、（どうしても）～できない
niwkes	（都合や状況により）～できない
nukuri	（年齢、体調、あるいは面倒で）～できない

用例を見る限り**右の４つを常に使い分けるというより漠然と不可能を表わす時には　eaykap が用いられ、細かいニュアンスを叙述する時にその他の言葉が用いられているようです。**
尚、**以上に挙げた４つ全てが他動詞としても用いられます。**

3．eraman　と　erampetek
eraman 「～が分かる」という他動詞の否定形「～が分からない」は副詞　somo　を用いず、erampetek　という違う形の言葉を用います。

4．形式名詞　hawe
形式名詞　haw　あるいは　hawe　は元々「声」の意味で、ある事柄が耳で聞いた情報である事を示します。
Kampinuye17の今日の学習3で形式名詞　ruwe　を学びましたが、今回の例文1にあるように　hawe　を用いても耳にした事柄について「～と聞いたけど本当なのか？」というニュアンスを込めて疑問文を作れます。

石狩紀行（13）ー近文

アイヌ語で「鳥（一説に鷹）のいる所」を意味する　Cikapuni　は意訳されて「鷹栖（たかす）」、音訳されて「近文（ちかぶみ）」となり、それぞれ旭川市の地名となっています。
後者の近文は明治以降多数のアイヌが暮す集落として知られてきましたが、その基礎を作ったのが門野クーチンコロ（クチンコレとも）翁でした。翁は上川の総乙名として rametok「勇敢さ」、siretok「容姿の端麗さ」、pawetok「雄弁」 に秀で、更にとても思いやりのある優しい人柄だったといいます。松浦武四郎の探査の案内役としても活躍しましたが、その翁の大きな英雄的業績は上川アイヌの解放です。幕藩体制が消滅した事により石狩浜での奴隷労働からようやく解放され故郷に戻る事ができた上川アイヌを、明治２年頃日本政府の兵部省石狩役場が当別より川下に移住させようとしました。石狩元場所の労働力確保のためです。なす術もない同族の中で翁はこれに猛然と論難（ caranke ）し、これを撤回させました。翁の政治家としての力量はそれに止まりませんでした。当時、石狩川の本流、支流に点在して集落が営まれていましたが、翁の先見の明は、これでは数に勝る和人に対抗し得ぬとして村々を説いて歩き、近文に大集落を営む事となったのです。「このままでは川の石も自分達の思うままにできなくなる」として、翁は更に他の地域にも赴き、個人のものではなく資源などという民族共有の財産を守る事、そのために皆が団結する必要性を説きましたが、当時としてはこのような進んだ考えを理解し得る者はあまりいなかったようです。
翁が失意の中に没してから多くの歳月が過ぎました。今のアイヌが自らの身命を投げ打った翁の高邁な意志をどれ程理解し継承できるのか、各自問い直す時でしょう。

Lesson25

Kampinuye 25 (Asiknep ikasma hot) したい、したくない
カンピヌイエ　アシクネプ　イカシマ　ホッ　— 助動詞(2)

例　文

1. A: An=nutari iposse pirkano ku=eraman rusuy na .
アヌタリイポッセ　ピリカノ　クエラマン　ルスィ ナ
(アイヌ語を良く分かるようになりたいな。)

B: Oota-san neno e=wen rusuy haw an ?
オオタサン　ネノ　エウェン　ルスィ　アワン　(太田さんのように貧乏したいのかい？)

A: Ku=wen rusuy somo ki korka
クウェン　ルスィ　ソモキ　コロカ　(貧乏したくないけれど
an=utari pirkawreska easkay kunine ku=arikiki rusuy .
アヌタリ　ピリカウレシカ　エアシカイ　クニネ　クアリキキ　ルスィ
アイヌみんなが幸せに暮らせるよう頑張りたいの。)

2. Ikaoykicise ekota sonno ku=oman etoranne korka
イカオィキチセ　エコタ　ソンノ　クオマン　エトランネ　コロカ
(私は病院にとても行きたくなかったけど
ku=kiumwen kor ku=kor totto ku=tura .
クキウムウェン　コロ　クコットット　クドラ　嫌々母について行った。)

3. A: Tane ku=mokor umen hum an wa !
タネ　クモコロ　ウメン　ウマヌワ　(もう寝飽きちゃったよ。)

B: Enean toranne hawe ku=kopan !
エーネアン　トランネ　アウェ　クコバン　(そんな怠け話聞きたくない。)

4. A: Taan ta ku=eramuskare menoko a wa an na .
タアンタ　クエラムシカレ　メノコ　ア　ワ　アン　ナ
(あそこに俺の知らない女の人が座ってるぞ。)

B: Taan menoko ku=amkir .
タアン　メノコ　クアムキリ　(俺はあの女の人知ってる。)

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
a	ア	自動詞	座る　(複数形は　rok　)
amkir	アムキリ	他動詞	～を知っている
an=utari	アヌタリ	名詞	(アイヌにとって)アイヌ、同胞(注:直訳すると「われらが同族」)
arikiki	アリキキ	自動詞	頑張る、努力する
enean	エネアン	連体詞	こんな、そんな、あんな
eramuskare	エラムシカレ	他動詞	～を知らない
etoranne	エトランネ	助動詞	～が嫌である、～(する)気がしない
haw an	ハワン	形式名詞+自動詞	～と言うのか
hum an	フマン	形式名詞+自動詞	～という気がする
ikaoykicise	イカオィキチセ	名詞	病院
kiumwen	キウムウェン	他動詞	～を嫌だと思う
kopan	コパン	他動詞	～を拒否する、～を嫌う
kunine	クニネ	接続助詞	～(する)ように
mokor	モコロ	自動詞	眠る
neno	ネノ	後置副詞	～のように
pirkawreska	ピリカウレシカ	自動詞	良い暮らしをする
sonno	ソンノ	副詞	とても、本当に
taan	タアン	指示代名詞	そこ、あそこ
toranne	トランネ	自動詞	怠ける、怠けている
umen	ウメン	助動詞	～(するの)に飽きる、～(するの)が途中で嫌になる
wen	ウェン	自動詞	貧乏になる、貧乏である

今日の学習

1. 欲求、拒否を表わす助動詞について

「～したい」を意味する欲求の助動詞　rusuy　はこれまでも度々でてきました。これに対して「**～したくない**」と言いたい時は　**somo＋動詞＋rusuy　あるいは　動詞＋rusuy　somo　ki　の形で表現します**。これとよく似た「～が嫌である」という意味の拒否の助動詞があります。**etoranne　は**　toranne　「怠ける」という言葉が含まれており現在ではその連想から悪い意味にとる方も中にはいますが、**怠けるという意味はなく単に「～(する)のが嫌である」の意味**になり、この言葉は他動詞としても用います。また、**kopan**　は例文では他動詞ですが、**助動詞としても用いる事ができます。**

尚、rusuy　は現在他動詞としては用いませんが、物語の中にはわずかながら他動詞としての用例が確認される事から、古くは他動詞の用法があったと考えられます。

2. somo ki　について

somo ki　は本来副詞＋他動詞で「～をしない」という表現ですが、例文1の“ Ku=wen rusuy somo ki …”「私は貧乏したくない…」のように**動詞、あるいは助動詞の後に助動詞的に用いられます**。これまで「～しない」という時には日本語とは異なる語順に注意しなければなりませんでしたが、somo ki　を「～ない」と覚えれば、

例えば　Ku=a somo ki .　「私は座らない」　と日本語の発想で言葉を並べる事ができます(注)。

また、　Ku=wen somo ki .「私は貧乏じゃない。」のように**状態を表わす文では、**

Ku=wen somo ne .　のように　**somo ne　を用いる事もできます。**

※注　現在ではこの形式を使って作文する例が多いように思いますが、これまで学習した自動詞における一人称複数の人称接辞の位置などのように、アイヌ語は日本語とは全く同じ語順にはならないので、日本語とは違う言語と割り切って学んだ方がよいでしょう。

3. amkir　と　eramuskare

前回学んだ　eraman　に対する　erampetek　と同じように、 amkir 「～を知っている」の否定形は　somo　を用いず、 eramuskare 「～を知らない」という言葉を用います。これら4つの言葉はそれぞれ「～を知っている」、「～を知らない」と同じ訳語がされる事もあり混同されがちですが、意味が違う言葉同士なので注意が必要です。以下の表にそれぞれの詳細な意味を整理しましたので、しっかり覚えましょう。

実際の用例では　erampetek　と　eramuskare　に関しては、時代が下った話者ほど本来 eramuskare　で表現すべきところに　erampetek　を用いる傾向があります。

尚、空知方言の　eramuskare　に対し旭川方言は　erameskari　の語形です。

eraman	①(知識として)～を知る、知っている、～を覚える、覚えている、～を理解する、理解している ②～に慣れる、慣れている ③～に気付く、気付いている ④～に気をつける、～に注意している
erampetek	①(知識として)～を知らない、～を覚えていない、～を理解しない、理解していない ②～に慣れていない

amkir	(経験して)～を知っている、(人や物事)を見知っている
eramuskare	(経験がなくて)～を知らない、(人や物事)に覚えがない

Lesson26

Kampinuye 26（Iwampe ikasma hot）感嘆文 — 形式名詞 ruwe hawe siri humi のまとめ

カンピヌイエ　イワンペ　イカシマ ホッ

例　文

1. A: E=paha　nep　ka　ne　wa ?
エパハ　ネプ　カ　ネ　ワー　（あんたの年は幾つ？）
B: Tu　pa　ikasma　rehot　ku=ne .
ド　パ　イカシマ　レホッ　クネ　（62歳です。）
A: Ayapo ,　e=pa poro　hawe !
アーヤポ　エパーポロ　ハウェー　（おやまあ、年いってるねえ。）

2. A: Sonno　pirka　siri !
ソンノ　ピリカ　シリー　（とってもきれいだ。）
Taan ene　to　teksam　ta　hoyuppa=an　na !
タアネネ　トー　テクサム　タ　オユッパアン　ナー　（あそこの湖の畔に走るんだ。）
B: Ponno　en=tere !　Ku=sinki　humi !
ポンノ　エンテレ　クシンキ　フミー　（少し待って。私疲れちゃった。）
Te ta　simpuy　an　kusu　sini=an　ro !
テタ　シンプィ　アン　クス　シニアン　ロー　（ここに泉があるから休みましょう。）
Yammakka　pirka　hum　an　na !
ヤンマッカ　ピリカ　ウマナー　（冷たい水美味しいなー。）

単　語

アイヌ語		品詞	日本語訳
ayapo	アヤポ	間投詞	（驚きを表わし）おや、まあ
pa	パ	場所名詞	年齢（所属形の長形は paha ）
simpuy	シムプィ	名詞	泉（注:「井戸」の意味でも用いられる。）
sini	シニ	自動詞	休む
sinki	シンキ	自動詞	疲れる
te	テ	指示代名詞	ここ
teksam	テクサム	位置名詞	～のすぐそば
to	ト	名詞	湖（注:その他「池」、「沼」、「水溜り」を意味する。）
wa	ワ	終助詞	～か（注:ya の異形。石狩方言では子音の y と w の交替がよく見られる）
yammakka	ヤンマッカ	名詞	冷たい水（もとの語形は　yam　wakka ）

今日の学習

1．感嘆文について

何かに感心した時の言い方としては、例えば「とても美しい。」を　Sonno　pirka！　という普通の文に強いイントネーションを加えるだけでも良いのですが、その他にこれまで学習してきた　**hawe、siri、humi　といった形式名詞を文末に用いて感嘆文を作る事ができます。**

例文では　siri、humi　という新しいものも出てきています。それについて次の項目で詳しく述べます。

2．4つの形式名詞について

これまで学習した　ru　と　ruwe、あるいは　haw　と　hawe　は平叙文、疑問文や感嘆文に用いられ、非常に重要な言葉である事がお分かりになったでしょう。ここでは新しく出てきた2つの形式名詞を加え、その意味と用法を整理したいと思います。

① ru　および　ruwe　は
情報　→　知覚　→ ru　ruwe
のように情報が頭脳、つまり知覚のフィルターを通された時に用いられます。知覚で分析し、それが事実であるとして発話される時には　ruwe ne　（あるいは　ru ne）、感情がこもった時に　ru an　、強い断定を表わしては　ru un　が用いられます。また、知覚に入った情報が確かなのか尋ねる時には文末に　ruwe　や　ru an a　などの形が用いられます。こういうプロセスを踏むため極めて感覚的な感嘆文に用いられる事はありません。

② sir　および　siri　は
情報　→　視覚　→　sir siri
のように情報が目、つまり視覚のフィルターを通された時に用いられます。視覚でとらえた様子を述べる際には　siri ne　や　sir an　「～の様子である」が用いられます（注1）。また、視覚でとらえた情報に対して尋ねる時　sir an a　「～の様子だろうか」の形が用いられ（注2）、またそういった情報に対し感嘆した時には文末に　siri　が用いられます。

③ haw　および　hawe　は
情報　→　聴覚　→　haw hawe
のように情報が耳、つまり聴覚のフィルターを通された時に用いられます。聴覚でとらえられた（言語）情報、つまり「～という話だ」と伝聞の内容を述べる時に　hawe ne　（あるいは　haw ne ）や　haw an　が用いられます（注3）。
伝聞に対して尋ねる時は　hawe　や　haw an　（あるいは　haw an a ）の形が用いられ、また、そういったものに対して感嘆した時には文末に　hawe　が用いられます。haw　や　hawe　は「アゥ」、「アウェ」と発音される事が多く注意が必要です。

④ hum　および　humi　は
情報　→　感覚、感情　→　hum humi
のように情報が味や手触りや痛みや快感などの肉体的感覚や気分、気持ち、考えといった精神的感情のフィルターを通された時に用いられます。感覚や感情でとらえられた事柄を「～という感じ」、「～という気分だ」というように述べる時　hum an　が用いられます（注4）。尋ねる時の言い方は例が見つからず不明です（注5）。
感嘆文では文末に　humi　の他　hum an a　（発音は常にウマナー）が用いられます。尚、この　hum　や　humi　も「ウム」、「ウミ」と発音され、更に前者は先行する子音と連音してとんでもない音に聞こえるので注意が必要です。

※注1　石狩方言では、沙流方言で例えば　ruwe　や　siri　の形を用いるところを　ru　や　sir の形を用いる事が多いのですが、siri ne　について　sir ne　の形は未確認です。これは発音上「～のように」という意味の副助詞　sinne　と同じになる事を避けていると考えられます。 sir an　「～の様子である」は、沙流方言で　siran　「時が経つ」と同じ完全動詞とされるようですが、石狩方言では前者を形式名詞＋自動詞の形式としておきます。
※注2　siri　が単独で文末に用いられた疑問文の例は、石狩方言としては目下未確認です。
※注3　hawean　「言う」という自動詞があり、hawan　と発音される事も多いため混同しないように注意が必要です。一つの区別の仕方として　sekor　という言葉に　hawan　が続いたら、それは自動詞です。
※注4　沙流方言に見られる　humi ne　は未確認ですが、今後は　humi ne　あるいは　hum ne　の形で石狩方言に取り入れる事にします。同様に　humi an　も確認されていませんが、用いても良い事にします。
※注5　今後は　humi an（あるいは hum an ）や　hum an a　などを用いて表現する事にします。

3．場所を示す指示代名詞

Kampinuye12で　teoro　（あるいは　teor ）「ここ」や　taanero　「そこ、あそこ」**という指示代名詞**について学びました。これらは「ここが」とか「ここを」などのように**文中で主語や目的語にする事ができます。**それに対して今回出てきた　te　「ここ」や前回出てきた　taan　「そこ、あそこ」は同じ指示代名詞でも「～で」、「～へ」、「～から」、「～まで」などを意味する後置詞や後置副詞と共にしか用いられませんので注意が必要です。